

令和2年度第2回愛知県食育推進会議 会議録

1 日時

令和2年12月15日（火）午後3時から午後3時52分まで

2 場所

愛知県庁本庁舎 6階 正庁

3 出席者

会長及び委員 25名

説明のために出席した者 農業水産局技監始め 17名

4 議事の概要

(1) 開会

これより、「令和2年度第2回愛知県食育推進会議」を開会させていただきます。
始めに、愛知県食育推進会議会長である大村知事から御挨拶を申し上げます。

(2) 知事挨拶

委員の皆様方には、大変お忙しい中、「令和2年度第2回愛知県食育推進会議」にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、日頃から本県行政の推進に、格別のご支援とご協力をいただいておりますことを、この場をお借りいたしまして改めて厚くお礼申し上げます。豊かな食生活や健康な体づくりなど、健全で豊かな食生活のために食育は欠くことができないものであります。

さて、本日は、7月21日に続き、皆様にお集まりいただいております。

本年度は、現行の第3次愛知県食育推進計画であります「あいち食育いきいきプラン2020」の最終年度に当たりますことから、検討会を設置し、第4次愛知県食育推進計画の内容を検討して参りましたので、今日、お示しいたします。

次期計画におきましては、食を通じて「健康な体をつくる取組」、「豊かな心を育む取組」、「環境に優しい暮らしを築く取組」、そして「食育を支える取組」の4つの取組を「継承」いたしますとともに、行政、企業、団体等の「様々な主体同士の連携」や「新しい生活様式の実践」、「SDGs達成への貢献」などを踏まえ、取組を「SHIN化(しんか)」させております。SHIN化とは、新しく、進める、深く、伸びるといったことですが、食育の実践力を高めて参りたいと考えております。

また、今年度、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました食育推進全国大会につきましては、7月に開催いたしました「第15回食育推進全国大会愛知県実行委員会」において、「また次なる機会があればチャレンジを」とお話しさせていただいたところですが、先般、農林水産省から2022年度の開催地募集がありまして、10月に応募いたしましたのでご報告します。決まれば仕切り直しということで、また御協力をお願いいたします。

開催地の決定は、来年の2月頃になるようですが、愛知県に決まりました暁には、皆様方からのご支援を賜りますよう何卒よろしく願いいたします。

本日は、限られた時間ではございますが、忌憚のないご意見を賜りますよう、お願い申し上げます。

また、今後も、愛知県の食育推進へのご支援を賜りますよう、各団体におかれま

しては食育の取組の一層の充実をお願い申し上げまして、開会の挨拶とさせていただきます。

(3) 委員の出席等

大村知事は、公務の都合により、ここで退席をさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、お手元の愛知県食育推進会議委員名簿を御覧ください。

本日は、委員 29 名のうち 25 名の委員の方に御出席をいただいておりますこと、愛知県食育推進会議条例第 4 条の 3 の規定の「半数以上の委員の出席」を満たしておりますことを御報告申し上げます。

次に、本日の会議資料ですが、次第の下段に記載の配付資料一覧のとおりでございます。御確認をお願いいたします。

なお、会議終了時間は、午後 4 時を予定しておりますので、御協力をお願いいたします。

それでは、会議運営要綱第 2 条により、会長代理であります、中根農業水産局長に、議事の取り回しをお願いいたします。

(4) 会議録署名人の指名

それでは、お手元の会議次第に従いまして、議事を進行させていただきます。

本日、御審議いただく議題は、「第 4 次愛知県食育推進計画（素案）について」を予定しております。

続いて、本日の会議録の署名人についてであります。愛知県歯科医師会の徳丸委員と愛知県漁業協同組合連合会の和出委員をお願いをしたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、議題に入ります。

(5) 議事

ア 「第 4 次愛知県食育推進計画（素案）について」（案）について

議長

議題(1)「第 4 次愛知県食育推進計画（素案）について」、事務局から説明してください。

【事務局】

資料 1、2 及び参考資料 1 から 4 により説明。

議長

「第 4 次愛知県食育推進計画（素案）について」御説明しました。

この素案につきましては、計画検討会において 2 回に渡り、御検討していただいております。

検討会で座長を務めていただいております酒井委員から、補足など何かございましたらお願いいたします。

【酒井委員】

検討会の座長を務めております、愛知学院大学の酒井と申します。

検討会は、御説明にありまして、2 回に渡って行い、活発な議論が交わされましたので御紹介します。

特に、参考資料2、第4次計画の数値目標につきましては、色々な考え方がありますけれども、行動目標となりますので、達成可能な取組として、その実践する過程が重要であります。

2つ目は、COVID-19によって生活様式が変わっている中で、食育の中での共食、人との絆がより大切にされる取組が、今後、より進められていくと思います。

3つ目は、2020年度開催予定であった全国大会の準備を進める中で、様々な団体の間で連携が進んだと感じています。冒頭の知事の挨拶であったように、2022年度の全国大会への応募をされたようですが、こうした大きなイベントを上手く活用して、2025年度を目指したこの食育推進計画の取組も進めていけたらよいと思います。

4つ目は、先ほども説明がありましたように、地球レベルの環境を考えなければいけないのですが、SDGsを目的にするのではなくて、食育に取り組むことがSDGsの達成につながるということを確認しております。

4次計画につきましても、机上の計画にとどまらないように、実践活動を通して、よりSHIN化させていくことが計画の目的として重要です。

議長

酒井委員、ありがとうございました。

酒井委員のお話にありましたように、食育推進全国大会が中止となり、私も残念な思いをした一人であります。大会準備の中で、様々な団体の連携が図られ、盛り上がりしており、知事からも再度のチャレンジのお話がありましたので、私としても、また開催できれば良いと考えております。

今回、皆様に事前の意見照会をさせていただきましたが、中日新聞社の遠藤委員から御意見をいただいておりますので、よろしく願いいたします。

【遠藤委員】

新しい生活様式について計画で取り入れられており、よいと思います。計画案についてよくまとまっていると思います。

先日、マナーとか礼儀作法について教えていらっしゃる先生にお話を聞き、昨今のコロナで会食が感染のリスクとして取り上げられて、そういった中で、改めて食事の仕方やマナーの大切さを感じました。

先生のお話を振り返ると、くちやくちや口を開けて食べない、口に食べ物が入っているときは話をしないなどの他、もう一つ、日本には取り箸などといったコロナ対策にもなるような伝統的な食事作法もあり、今後、食育の中で伝えていただけるとよいと思います。

議長

遠藤委員、ありがとうございました。

委員からの御意見について、事務局から回答をお願いします。

【事務局】

御意見ありがとうございました。

御意見のとおり、コロナ禍において、食事作法やマナーなどを伝えていくことは今までよりも重要だと考えます。

この素案の中で、「豊かな心を育む取組」に、37ページの新しい生活様式に合

わせた食を楽しむための情報提供や、39 ページの食事作法の習得などを、各主体が地域や学校などで取り組むこととして記載しております。

議長

他の委員の方も、御意見ございますでしょうか。
御意見、御質問等のある方は、挙手をお願いします。

【意見等】

なし

議長

他に御意見等がございませんので、議題（1）につきましては、原案のとおり計画素案とさせていただきます、パブリックコメントの募集を行ってよろしいでしょうか。

【委員】

異議なし。

議長

異議なしの御発言がありましたので、資料1及び資料2につきまして、計画素案とさせていただきます、パブリックコメントの募集を行ってまいります。

また、本日、御検討いただきました第4次愛知県食育推進計画の名称につきましては、「あいち食育いきいきプラン2025」（仮称）としておりましたが、本日の会議において、仮称を取り、「あいち食育いきいきプラン2025」とさせていただきますようによろしいでしょうか。

【委員】

異議なし。

議長

異議なしの御発言がありましたので、仮称を取り、「あいち食育いきいきプラン2025」とさせていただきます。

なお、今後の軽微な調整につきましては、事務局に一任いただくことで御了解いただきたいと存じます。

イ その他

議長

次に、その他について事務局から発言はありますか。

【事務局】

今後のスケジュール等について説明。

議長

全体を通して、何か御意見、御質問等がございましたらお願いします。

【意見】

【吉田委員】

子どもの心を育てることについて、家庭での役割が今後もっと大きくなると思われるため、家庭への支援が必要だと考えます。

特に女性の働き方が変わらない以上、子どもと関わる時間を取れない中、「こういうことをしてくださいね」といった、美しい言葉だけでは解決しないと思います。他に波及できるように、家庭で子どもの心を豊かに育てられる環境を作ることができるような働きかけについて、具体的な方法や、一文入れるなど出来ることがございますか。

議長

事務局の方から回答をお願いします。

【事務局】

家庭への支援についてですが、社会全体、地域全体で支えていくこと、例えば、ワーク・ライフ・バランスなどが大事になってまいります。こうした、周囲が家庭で子どもの心を育てることを大切にする雰囲気作りが大切であると考えております。色々な機会を捉えながら、私どもも「食育を支える」取組として、引き続き、啓発や声かけなどに取り組み、それぞれの関係団体、関係者にも、その場、その場で配慮して、取組をお願いしたいと思います。

今回のSHIN化においても、横のつながりを大切にすることを述べておりますので、御理解いただければと考えております。

議長

他に、御意見、御質問等がございましたらお願いします。

【意見等】

なし

議長

他に御発言もないようですので、以上で予定しておりました議事を終了いたします。

委員の皆様方には、議事の進行に御協力をいただき、誠にありがとうございました。

先ほどの知事の挨拶にもございましたが、2022年度の食育推進全国大会の開催地募集に応募しております。愛知県が開催地として決まった暁には、第15回と同様に実行委員会形式で行いたいと考えております。本日、御参集の皆様の御協力・御支援をお願いいたします。

また、今年度は、学校給食への県産農林水産物の提供を行っております。今回、学校給食に関係されている方もたくさんいらっしゃいますので、改めてお願いさせていただきます。今年度限りの制度ですので、御活用をお願いいたします。

以上

会議録署名者

（徳丸 委員）

（和出 委員）